

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	関係法規・制度	必修	30	1		講義	演習	実習実技
							○		
授業の概要	理容師・美容師の資格を定めるとともに、理容の業務が適正に行われるように規律し、もって公衆衛生の向上に資することを目的とする。また、理容師・美容師の社会における役割や、職業上、必要な制度について勉強する。								
学習目的	理容師・美容師として必要な国家試験の内容やそれに伴う各行政機関の役割を理解し、社会生活における理容師としての役割について学ぶ。								
教科書	日本理容美容教育センター「関係法規・制度」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	法制度の概要	法が必要とされる理由や特徴・種類など法の役割について学ぶ	
第2回	衛生法規の概要	衛生行政の目的を理解し、国と地方が行なう行政の関係を学ぶ	
第3回	衛生行政の意義と歴史	国民生活の公衆衛生を増進するための衛生行政を理解し、衛生行政のこれまでの歴史と発展および現在の衛生行政の課題を学ぶ	
第4回	衛生行政の分類と生活衛生行政の内容	衛生行政の種類と、それらを所管する機構と内容について学ぶ	
第5回	理容師法の目的	理容師法・美容師法の考え方、仕組み、規制を理解し、理容師・美容師が適性に理容・美容の業を行うために必要な事を学ぶ	
第6回	理容師法の用語の定義	理容師法・美容師法で特に必要だと思われる用語を学ぶ	
第7回	人(理容師・美容師)に関する規定	理容師・美容師の養成、試験、免許の仕組み、等について学ぶ	
第8回	人(理容師・美容師)に関する規定	理容師・美容師の免許と登録について学ぶ	
第9回	人(理容師・美容師)に関する規定	理容師・美容師が管理業務を行なうときに厳守しなければならない義務について学ぶ	
第10回	施設(理容所・美容所)に関する規定	開設の届出や施設の検査確認、美容所が講ずべき措置等について学ぶ	
第11回	施設(理容所・美容所)に関する規定	理容書・美容所以外での衛生措置について学ぶ	
第12回	違反者に対する行政処分・罰則	違反者に対する罰則や、理容所・美容所に対する処分および罰則について学ぶ	
第13回	理容師法・美容師法のまとめ	理容師法・美容師法の復習・理解	
第14回	関連法規	理容師・美容師及び理容所・美容所を経営する場合に必要な法律について学ぶ	
第15回	関連法規まとめ 理容師・美容師試験	理容師・美容師試験対策	

到達目標	1. 理容師・美容師国家試験(関係法規・制度)合格レベルの知識習得
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	衛生管理	必修	30	1		講義	演習	実習実技
							○		
授業の概要	消毒法を知り、理学的消毒法、化学的消毒法の特徴を学ぶ。消毒薬の種類と濃度計算式を理解する。清潔保持と清掃の意義を知る。								
学習的	理容所・美容所における適切な消毒薬、消毒法								
教科書	日本理容美容教育センター「衛生管理」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	消毒とは	消毒法の歴史	
第2回	病原微生物と非病原微生物	病原微生物の種類と構造・消毒の原理	
第3回	消毒の意義①	汚染・感染・発病と消毒の意義	
第4回	消毒の意義②	消毒・滅菌・殺菌・防腐の定義	
第5回	理容・美容の業務と消毒との関係	消毒に関連のある法の規定	
第6回	消毒を怠った場合の危険と責任	理容所・美容所で起こりえる感染例・消毒の重要性	
第7回	消毒法と適用上の注意	消毒法の種類・病原微生物の抵抗力	
第8回	消毒法各論・理学的消毒法	紫外線消毒・煮沸消毒・蒸気消毒	
第9回	化学的消毒法	アルコール類の消毒・次亜塩素酸ナトリウム・界面活性剤・逆性石鹼	
第10回	すぐれた消毒法と実施上の注意	消毒法の条件、注意事項	
第11回	消毒法実習	各種消毒薬・消毒薬と希釈液の濃度	
第12回	消毒薬希釈法	各種消毒薬希釈の手順	
第13回	理容所・美容所の消毒の実際	消毒設備・器具の消毒法・消毒の現状	
第14回	理容所・美容所の消毒法の実際	洗剤による清浄法・衛生昆虫の駆除	
第15回	衛生管理技術のまとめ	消毒法と特徴・器具、布片の消毒法・希釈法	

到達目標	・理容師・美容師国家試験(衛生管理)合格レベルの知識習得		・理美容師の社会責任・職儀容倫理への理解
成績評価	期末試験 単位認定60点以上		
備考			

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	保健	必修	30	1		講義	演習	実習実技
							○		
授業の概要	人体の構造(解剖学)と機能(生理学)について具体的な知識を持つ。								
学習的	皮膚・毛髪などを主とする知識を美容技術と関連づけて学ばせる。								
教科書	日本理容美容教育センター「保健」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	毛のはたらき／爪のはたらき	
第2回	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と全身状態	
第3回	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と精神／皮膚と栄養／皮膚とし好品	
第4回	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚と体内病変／皮膚の水分と脂の状態	
第5回	皮膚と皮膚付属器官の保健	皮膚の保護と手入れ／爪の保護と手入れ	
第6回	皮膚と皮膚付属器官の保健	毛の保護と手入れ／爪の保護と手入れ	
第7回	皮膚と皮膚付属器官の保健	子どものおしゃれによる皮膚のトラブル	
第8回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類／皮膚疾患の原因	
第9回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚疾患の治療法／皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹／口唇の疾患／温熱・寒冷による皮膚疾患	
第10回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	血管腫(アカアザ)／脂腺母斑／下肢静脈瘤	
第11回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	分泌異常による皮膚疾患／化膿菌による皮膚疾患	
第12回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	ウイルスによる皮膚疾患／細菌による皮膚疾患	
第13回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	真菌による皮膚疾患／衛生害虫による皮膚疾患	
第14回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	感染症の皮膚疾患の予防	
第15回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	毛と爪の疾患／皮膚の腫瘍	

到達目標	1. 理容師・美容師国家試験(保健)合格レベルの知識習得
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	理容技術理論	必修	70	2.3	○	講義	演習	実習実技
							○		
授業の概要	理容師としての心構え、理容技術の基礎理論を学び、理容技術の理解を高めて理容実習につなげていく								
学習的	科学的根拠をもとに理論を理解することで、より良い技術と心構えを持ちお客様に提供できる理容師をめざす								
教科書	日本理容美容教育センター「理容技術理論」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	シェービング	シェービングを学ぶにあたって・シェービングの要件	
第2回		シェービングの種類・シェービングの基本技術と要領	
第3回		シェービングプロセス	
第4回		メンズフェイスシェービング	
第5回		メンズネックシェービング	
第6回		グルーミング	
第7回		レディースシェービング	
第8回	理容エステティック	理容エステティックを学ぶにあたって・スキンケア	
第9回		フェイシャルケア	
第10回		ハンドケア	
第11回		フットケア	
第12回		理容アロマセラピー	
第13回	理容技術理論まとめ I	理容技術理論の国家試験(筆記)対策問題練習	
第14回	理容クリニック	理容クリニックを学ぶにあたって・ヘアクリニックのカウンセリング	
第15回		トリートメント	
第16回		ヘアケアとスカルプケア	
第17回		毛髪の基礎知識・ヘアチェック(毛髪診断)	
第18回		頭皮の基礎知識・スカルプチェック(頭皮診断)	
第18回		ヘアクリニックの用具・ウィッグ	
第20回	理容技術理論まとめ II	理容技術理論の国家試験(筆記)対策問題練習	
第21回	シャンプーイング & リンシング	シャンプーイング	
第21回		シャンプーイングの方法①	
第23回		シャンプーイングの技法②	
第24回		リンシング	

第25回	理容マッサージ	理容マッサージの意義と効果	
第26回		理容マッサージの意義と効果マニピュレーション	
第27回		ヘッドマッサージの一例	
第28回		クリニックマッサージの一例	
第29回	理容技術理論まとめⅢ	理容技術理論の国家試験(筆記)対策問題練習	
第30回	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントを学ぶにあたって	
第31回		ヘアトリートメントの種類と一例	
第32回	スカルプトリートメント	スカルプトリートメントを学ぶにあたって スカルプトリートメントの種類	
第33回		ベーシックスカルプトリートメントの一例	
第34回	理容技術理論まとめⅣ	理容技術理論の国家試験(筆記)対策問題練習	
第35回	理容技術理論まとめⅤ	理容技術理論の国家試験(筆記)対策問題練習	

到達目標	理容技術は、刃物を使用する機会が多いために正確な理論を身につけて、より良い理容技術の基礎となる理論を学び、正確な技術の習得をめざす。
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	理容実習 (カッティング)	必修	150	5	○	講義	演習	実習実技
									○
授業の概要	カッティング技術の基礎から応用まで幅広く知識を習得し卒業後、即戦力として活躍できる人材を育成する。								
学習目的	勢をしっかりと覚えてから、順序を覚える。 その後、時間を短縮して国家試験や営業で使える技術を身につける。								
教科書	日本理容美容教育センター「実技課題集」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	ミディアムヘア実践12	セニングシザーズの入れ方を覚える	
第2回	ミディアムヘア実践13	セニングシザーズの入れ方を覚える	
第3回	ミディアムヘア実践14	国家試験に準ずるカットが出来ているか(セニング技術込み)	
第4回	ミディアムヘア実践15	国家試験に準ずるカットが出来ているか(セニング技術込み)	
第5回 ～ 第11回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第12回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(28分)	
第13回 ～ 第19回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第20回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(25分)	
第21回 ～ 第26回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第27回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(23分)	
第28回 ～ 第34回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第35回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(20分)	
第36回	ミディアムヘア(国家試験)	梳きバサミの仕上げ・改善点修正	
第37回			
第38回 ～ 第42回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・全体仕上がり確認・実技検定試験	
第43回 ～ 第46回	ミディアムヘア(国家試験)	実技検定試験カッティング(20分)梳きバサミ(5分)	
第47回	ミディアムヘア(国家試験)	国家試験衛生確認・道具チェック	
第48回			
第49回	ミディアムヘア(国家試験)	国家試験シミュレーション	
第50回			

到達目標	国家試験実技カッティングならびに基礎カット技術を身につけ資格取得を目指す。
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	理容実習 (ワインディング)	必修	105	3.5	○	講義	演習	実習実技
									○
授業の概要	構成・スタイル・形・タイム管理をしっかり習得する								
学習的	1. 巻き方を覚える 2. 時間短縮をする 3. きれいに巻く								
教科書	日本理容美容教育センター「理容実習」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	ワインディング	アップシステム、ステム、ダウンシステム	
第2回			
第3回 ∩ 第5回		左右の色彩がそろっているか	
第6回 ∩ 第12回		規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第13回		規定タイムで手技・仕上がり確認、(期末試験30分)	
第14回 ∩ 第24回		規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第25回		規定タイムで手技・仕上がり確認、(期末試験28分)	
第26回 ∩ 第31回		規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第32回		規定タイムで手技・仕上がり確認、(期末試験25分)	
第33回 ∩ 第35回		規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	

到達目標	構成と正確さをしっかり身に付けて2学年に進む
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	理容実習 (シェービング)	必修	165	5.5	○	講義	演習	実習実技
									○
授業の概要	国家試験の実技課題となるシェービングは理容独自の技術であり、必須な授業となる。また、メンズシェービングの他にレディースシェービングなど幅広い技術の習得を目指してもらう。								
学習的	理容特有のシェービングを基礎から学び安全な刃物の扱い方などを実習し、就職後に即戦力としてできるようにする。								
教科書	日本理容美容教育センター「実技課題集」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	シェービング実践1	国家試験の衛生課題を覚える	
第2回	シェービング実践1	国家試験の衛生課題を覚える	
第3回	シェービング実践2	国家試験に準ずるカシェービングが出来るか	
第4回	シェービング実践3	国家試験に準ずるカシェービングが出来るか	
第5回	シェービング(国家試験)	国家試験に準ずるカットが出来るか(セニング技術込み)	
第6回 ～ 第10回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第11回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(25分)	
第12回	レディースシェービング1	ウイッグを使いレディースシェービングの運行・スピードの確認	
第13回	レディースシェービング2	ウイッグを使いレディースシェービングの運行・スピードの確認	
第14回	レディースシェービング3	ウイッグを使いレディースシェービングの運行・スピードの確認(実技試験)	
第15回	レディースシェービング4	ウイッグを使いレディースシェービングの姿勢・レザーの角度の確認	
第16回	レディースシェービング5	ウイッグを使いレディースシェービングの姿勢・レザーの角度の確認	
第17回	レディースシェービング6	ウイッグを使いレディースシェービングの姿勢・レザーの角度の確認	
第18回	レディースシェービング襟剃り7	耳周りに注意しながら刃を立てないように練習を行う(右側面)	
第19回	レディースシェービング襟剃り8	耳周りに注意しながら刃を立てないように練習を行う(左側面)実技試験	
第20回	レディースシェービング9	レディースシェービング総合技術確認	
第21回	レディースシェービング10	レディースシェービングまとめ	
第22回 ～ 第28回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第29回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(20分)	
第30回 ～ 第36回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第37回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(18分)	
第38回 ～ 第44回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	

第45回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(15分)	
第46回 ～ 第50回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第51回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(15分)	
第52回	シェービング(国家試験)	国家試験衛生確認・道具チェック	
第53回			
第54回	シェービング(国家試験)	国家試験シミュレーション	
第55回			

到達目標	1. 理美容師国家試験(実技試験)合格レベルの知識習得 2. 理容技術への理解
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	理容実習(カラー)	必修	39	1.3	○	講義	演習	実習実技
									○
授業の概要	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る。								
学習的	理容師に必要なデザインカラー技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける。								
教科書	日本理容美容教育センター「理容実習」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	カラー技術の応用知識を知る	カラーのバリエーション～薬剤選定・スタイルに合わせた技術	
第2回	サロンワンレングスボブ①	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス	
第3回	サロンワンレングスボブ②	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定	
第4回	ラウンドグラデーションボブ①	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス	
第5回	ラウンドグラデーションボブ②	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定	
第6回	ミディアムレイヤーカット①	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス	
第7回	ミディアムレイヤーカット②	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定	
第8回	セクションカット①	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス	
第9回	セクションカット②	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定	
第10回	マニキュアの発色	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す	
第11回	ブリーチ剤の発色	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す	
第12回	デザインカラーの発色	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す	
第13回	カラー技術の総合まとめ	カットスタイルによるカラーの印象を知る	

到達目標	デザインカラーを理解する→カットスタイルに合わせたカラー技術を施術できる。
成績評価	単位認定 課題提出
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	理容実習 (シャンプーイング)	必修	39	1.3	○	講義	演習	実習実技
									○
授業の概要	卒業後に即戦力となれるように学習し理解することによって、実技課題の習得を目指す。								
学習的	理容特有の前屈みシャンプーを実習し、理解すること。								
教科書	日本理容美容教育センター「理容実習」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	シャンプー剤の構成成分①	界面活性剤－洗浄作用、汚れをおとす	
第2回	シャンプー剤の構成成分②	コンディショニング成分－きしみをなくす、毛髪保護	
第3回	シャンプー剤の構成成分③	増粘剤－シャンプー液に粘度を出す	
第4回	シャンプー剤の構成成分④	毛髪保護剤、湿潤剤－毛髪保護、補修	
第5回	シャンプー剤の構成成分⑤	香料－製品の特徴づけ 防腐剤－製品の安定化	
第6回	ヘアトリートメント剤の構成成分①	界面活性剤－きしみをなくす、静電気防止	
第7回	ヘアトリートメント剤の構成成分②	油剤－油分補給、増粘効果	
第8回	ウイッグでのシャンプー訓練①	シャンプー剤の塗布・マッサージ	
第9回	ウイッグでのシャンプー訓練②	シャワーヘッドの動かし方・後頭部の洗髪	
第10回	相モデルでのシャンプー訓練①	シャンプー時の指の加減や流すタイミングの確認	
第11回	相モデルでのシャンプー訓練②	シャンプー時の姿勢や安定した体重移動の確認	
第12回	相モデルでのシャンプー訓練③	全体に毛髪が洗えているか・シャンプーマッサージの確認 (技術試験)	
第13回	総合まとめ	シャンプーの一連動作の確認	

到達目標	理容技術理論の基礎がわかり、技術として結びつけることが出来るようになる。
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	理容実習 (デザインヘア/ ブロー・セット)	必修	78	2.6	○	講義	演習	実習実技
									○
授業の概要	コンテストなどを通して幅広い知識と技術を習得、及びイメージング能力向上を目指す。現役のスタイリストから直接カットを指導してもらい、現場の雰囲気の中で専門的に技術・理論を学習し作品創りのノウハウを知る。								
学習的	作品創りを通して創造性を高めデザイン力を身に付ける。								
教科書	オリジナル教材「コンテスト資料」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
【デザインヘア】			
第1回	カット展開図	カタログなどを用いてスタイル作成	
第2回	セクション(部分)カット	展開図を元に部分のカットをする(バック・バックサイド)	
第3回	セクション(部分)カット	展開図を元に部分のカットをする(サイド・トップ・フロント)	
第4回	毛量調節	シザーズによる毛量調整、セニングによる毛量調整	
第5回	ブローテクニック	スタイルに応じたブローテクニック、仕上げ方	
第6回	スタイリング剤の使い方	スタイリング剤の選定、スタイリング技術	
第7回 ～ 第9回	コンテストスタイル (理容組合)	コンテイトスタイル作成	
第10回 ～ 第13回	コンテストスタイル (専門学校大会)	コンテイトスタイル作成	
【セット・ブロー】			
第1回	カット展開図	スタイルから読み解きダイアグラム作成	
第2回	2セクションカット	応用のカット技法を学ぶ	
第3回	マルチセクションカット	応用のカット技法を学ぶ	
第4回	毛量調節	シザーズによる毛量調整、インナーセニング	
第5回 ～ 第6回	仕上げブロー法	スタイルに応じたブローテクニック、仕上げ方	
第7回 ～ 第8回	スタイリング法	スタイリング剤の選定、スタイリング技術	
第9回 ～ 第12回	コンテストスタイル	コンテストスタイル・デザインウイッグ作成	
第13回	総合まとめ	作品展示・コンテスト・作品撮り	

到達目標	仕上げた作品をコンテストに出展し入賞をめざす。
成績評価	単位認定 課題提出
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	理容実習 (バリカンアート)	必修	39	1.3	○	講義	演習	実習実技
									○
授業の概要	理容師独自の技術であり頭毛にバリカンでアートを描く技を習得し、デザイン力を養う。								
学習的	理容師に必要な技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける。								
教科書	オリジナル資料「バリカンアートカタログ」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	バリカンの構造	バリカンの構造や各部の名所の確認	
第2回	バリカンの使い方・操作	バリカンの使い方や種類の知識・操作手順の確認	
第3回	ウイッグでのバリカン訓練	人形を使い実際に操作方法やバリカンの入れ方を学ぶ	
第4回	ウイッグでのバリカン訓練	人形を使い実際に操作方法やバリカンの入れ方を学ぶ	
第5回	スタイルの種類	カタログを見ながらデザインの種類を確認する	
第6回	バリカンでライン設定	ウイッグを使い頭皮にラインを書く	
第7回	直線スタイル作り1	ライン通りに直線のスタイルを作る・バリカンの入れ方に注意する	
第8回	直線スタイル作り2	ライン通りに直線のスタイルを作る・バリカンの入れ方に注意する	
第9回	直線スタイル作り3	ライン通りに直線のスタイルを作る・バリカンの入れ方に注意する	
第10回	絵文字の作り方1	曲線の作り方・特殊デザインの作り方	
第11回	絵文字の作り方2	立体的なバリカンの入れ方・ハサミとのバランス	
第12回	絵文字の作り方3	仕上げの作り方	
第13回	総合まとめ	ウイッグを仕上げる	

到達目標	バリカンアートのデザインを理解する→カットスタイルに合わせた技術を施術できるようにする。
成績評価	単位認定 課題提出
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	特別教育授業	選択	30	1		講義	演習	実習実技
								○	
授業の概要	理容・美容の現場で活用できる外国語やヘアデザインに必要なデッサン・ヘアスタイル画の描き方の習得、身体機能や運動機能を学ぶ体育活動を通して幅広い知識を学ぶ								
学習目的	理容・美容の現場で増えつつある、外国人のお客様へのコミュニケーションの習得やお客様からの要望を叶えるためのデッサン力の習得、また体育活動を通して幅広い知識を学ぶ								
教科書	日本理容美容教育センター「外国語」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回 ∩ 第5回	美術	ヘアデザイン画の作成	
第6回 ∩ 第9回	外国語	海外研修旅行(出入国審査・ショッピング・食事等)での英会話の練習	
第10回 ∩ 第12回	体育①	球技、運動を通してチームワーク、コミュニケーション能力を養う	
第13回 ∩ 第15回	体育②	校内技術大会等を通して技術の向上、競争力を養う	

到達目標	海外研修旅行での英会話でのコミュニケーション能力の習得とヘアデザイン画の作成
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	スペシャル授業	選択	20	0.7		講義	演習	実習実技
									○
授業の概要	公衆衛生を維持し、社会人としての意識やマナーを身に付ける。								
学習的	理容・美容椅子にすわったお客様の対応。								
教科書	オリジナルテキスト「接客接客」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	サロン実習／接客①	身だしなみ、言葉づかい、技術を行う作業姿勢	
第2回	サロン実習／接客②	カウンセリング	
第3回	サロン実習／接客③	サロンワーク	
第4回	サロン実習／施術①	シャンプーイング	
第5回	サロン実習／施術②	カットイング	
第6回	サロン実習／施術③	カラーリング	
第7回	サロン実習／施術④	スタイリング	
第8回 、 第10回	サロン実習／フォト撮影	フォト撮影	

到達目標	よりよい技術と心をお客様に提供できるような接客をする。
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	メイクアップ技術	選択	60	2		講義	演習	実習実技
									○
授業の概要	クレンジング～ベースメイク作成、ポイントメイクの美しさを知る								
学習的	ベーシックメイク・アレンジ・メイクの楽しさを知る								
教科書	日本理容美容教育センター「美容理論Ⅱ」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	授業の進め方・道具のチェック&手入れ法	授業を受ける際の注意事項・道具の点検と手入れ法	
第2回	道具の置き方・身だしなみ・ポイントメイクでも	セッティングや身だしなみ、セルフメイクの仕方	
第3回	ポイントクレンジングデモ・相モデル練習	ウィッグを使ったポイントクレンジングの練習と相モデル練習	
第4回	全体クレンジングデモ・相モデル練習	ウィッグを使った全体クレンジングの練習と相モデル練習	
第5回	クレンジング復習・クレンジング相モデル練習	ウィッグを使った全体クレンジングの復習&相モデル練習	
第6回	化粧水デモ・化粧水相モデル練習	化粧水の相モデル練習	
第7回	ポイントメイククレンジング～化粧水相モデル練習	相モデルにてレッスン	
第8回	プライマーデモ・相モデル練習	プライマー用モデル練習	
第9回	ポイントクレンジング～プライマー相モデル練習	スキンケア総復習用相モデル練習	
第10回	コントロールカラーデモ・相モデル練習	コントロールカラーのつけ方と相モデル練習	
第11回	スキンケア～コントロールカラー・ファンデデモ	スキンケア～コントロールカラー相モデル練習など	
第12回	ファンデーション相モデル練習	ファンデーションのつけ方・相モデル練習	
第13回	スキンケア～ファンデ・コンシーラーデモ	スキンケア～ファンデ相モデル練習・カバーの仕方	
第14回	コンシーラー相モデル練習	それぞれに合ったコンシーラー相モデル練習	
第15回	スキンケア～コンシーラー・フェイスパウダーデモ	スキンケア～コンシーラー相モデル練習・パウダーの仕方	
第16回	フェイスパウダー相モデル練習	フェイスパウダーのつけ方相モデル練習	
第17回	スキンケア～フェイスパウダー	スキンケア～フェイスパウダー相モデル練習	
第18回	ハイライト・ローライト・ニュアンスデモ&練習	ハイライト・ローライト・ニュアンスの相モデル練習	
第19回	スキンケア～ベースメイク	スキンケア～ベースメイクのチェック	
第20回	アイブロウデモ・相モデル練習相モデル練習	それぞれに合ったアイブロウの描き方相モデル練習	
第21回	スキンケア～アイブロウ・アイメイクデモ	スキンケア～アイブロウ相モデル練習・アイメイクの仕方	

第22回	アイメイク相モデル練習	それぞれに合ったアイメイクの相モデル練習	
第23回	スキンケア～アイメイク・リップデモ	スキンケア～アイメイク相モデル練習・リップの入れ方	
第24回	リップ相モデル練習	それぞれに合ったリップつけ方練習	
第25回	スキンケア～リップ・チークデモ	スキンケア～リップ相モデル練習・チークの入れ方	
第26回	チーク相モデル練習	チークを入れてフルメイク完成相モデル練習	
第27回 ～ 第30回	スキンケア～フルメイク (タイム管理)	スキンケア～フルメイクまで完成 タイム短縮 モデルを変えて完成	

到達目標	メイクをする楽しさと一人一人違うむずかしさなど、相モデルで技術をする側としてもらう側を認識してやっでの達成感を感じる
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	ヘアモード技術	必修	30	1	○	講義	演習	実習実技
									○
授業の概要	クラシカルバックバリエーションセットの基礎から応用まで幅広く学び学生ではコンテストや大会などさまざまな場面で活躍できる人材を育成し、卒業後でもレベルアップにつなげられる授業を行う。								
学習的	大会やコンテストなどで上位入賞につなげられる技術を身につける。								
教科書	日本理容美容教育センター「理容実習」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	アイアニング操作	アイロン技術における操作・使用方法を覚える	
第2回	アイアニング基礎	アイロン技術での種類(丸形・平型)の技術指導	
第3回	アイアニング基礎	ウイッグでの熱処理の方法・各部の技術指導	
第4回	アイアニング応用	スタイルに合わせたアイロンの操作方法	
第5回	アイアニング応用	フロントの作り方・操作方法	
第6回	クラシカルバックバリエーションセットの基礎	スタイル作りのカタログや写真の研究	
第7回	クラシカルバックバリエーションセットの基礎	スタイル作りの展開図作成	
第8回	クラシカルバックバリエーションセットの応用	頭部(バック)の作り方・操作方法	
第9回	クラシカルバックバリエーションセットの応用	フロント・トップの作り方・操作方法	
第10回	クラシカルバックバリエーションセットの応用	サイド・バックサイドの作り方・操作方法	
第11回 、 第14回	クラシカルバックバリエーションセット作り	展開図に合わせて、スタイルを作り作品を仕上げる	
第15回	コンテスト・大会のウイッグ完成	アイロン・ブラシを使用し、作品を完成させる	

到達目標	コンテスト・大会のウイッグ完成を目標に上位入賞を目指す。
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	接客・接遇	必修	30	1		講義	演習	実習実技
								○	
授業の概要	社会人に求められる常識的な心得を十分理解させ、マナーに対する知識、態度、技能を身につけさせる。								
学習的	社会人になる前の最終学校として、節度ある学生を育成し、即戦力として活躍できる人材を育てる。								
教科書	オリジナル資料「サロンワーク」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	接客・接遇の応用	電話での対応・カルテの管理・来店時の対応	
第2回	ジョブカフェ(青森県若年者就職支援センター)	就職における面接指導・履歴書の書き方	
第3回	サロンでの実習	受付、対応、マナーの練習と実地訓練	
第4回	サロンでの実習	相モデルでの接客訓練	
第5回 5 第7回	施設でのハンドマッサージ	地域施設での課外授業(ハンドマッサージ)	
第8回	赤十字ボランティア清掃活動	地域清掃、登下校通学路	
第9回	赤十字ボランティア青森マラソン	青森マラソン(給水活動)	
第10回	赤十字ボランティア炊き出し訓練	地域赤十字団との合同炊き出し訓練	
第11回			
第12回	サロンでの実習(応用)①	就職に向けての接客訓練	
第13回			
第14回	サロンでの実習(応用)②	就職に向けての接客訓練(実技試験)	
第15回	まとめ・総合	接客・接遇・ボランティアのまとめ	

到達目標	マナーや接客業の知識とボランティア活動を通して節度ある人材に育成しているか判断する。
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価
備考	

シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科	2学年	総合技術	必修	60	2	○	講義	演習	実習実技
								○	
授業の概要	基本的技術を基に、さらに発展した高度な技術を習得するとともに、最新技術の習得を目指す。集大成としてヘアショーを開催し観客に披露する。								
学習的	2年間の集大成の発表ヘアショーを成功させる。								
教科書	オリジナル資料「過去のヘアショーの資料、DVD」								

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	メイク①	(ヘアショー用舞台メイク)テーマを決める。モデルを決める。2年次で実習したことや雑誌・ネットなどを参考に決める	
第2回	メイク②	(ヘアショー用舞台メイク)モデルの輪郭・パーツを見ながらテーマに沿って決める	
第3回	メイク③	(ヘアショー用舞台メイク)モデルにメイクをする。色々なメイクをして決める	
第4回	メイク④	(ヘアショー用舞台メイク)モデルのメイクの決定。練習 終わった後のケアをする	
第5回	ネイル①	(ヘアショー用舞台ネイル)テーマに沿ってデザインをきめる。道具の準備等をする	
第6回	ネイル②	(ヘアショー用舞台ネイル)モデルの爪にチップ 形・大きさ合わせる	
第7回	ネイル③	(ヘアショー用舞台ネイル)チップ作成	
第8回			
第9回	セット①	(ヘアショー用舞台ヘア)テーマに沿って、メイク・ネイルが決まったので作る。パターンをいくつか作る	
第10回	セット②	(ヘアショー用舞台ネイル)決定したヘアを作る。テーマに沿っているか話し合いして決める	
第11回	セット③	(ヘアショー用舞台ネイル)練習する	
第12回	セット④	(ヘアショー用舞台ネイル)メイク・ネイルに基づいて作り決定する	
第13回	カラー①	テーマに沿ってブリーチから入る カラーの色を決めて技術に入る	
第14回			
第15回	カラー②	色みを見て完成	
第16回			
第17回	ファッション①	テーマ・メイク・ヘア・ネイル・カラートータル的に見て決める	
第18回			
第19回	ファッション②	小物や装飾品の確認	
第20回			
第21回	映像	必要な素材を探して編集する	
第22回	音楽	場面に合うように編集する	
第23回	演出	細部までチェックを行う	
第24回	振付	音楽に合わせたウォーキング・ポージング	
第25回			

第26回	舞台セット	会場作りとレイアウトの修正	
第27回	写真	撮影のタイミング、ポージング	
第28回 ↓ 第30回	ヘアショー	2年間の集大成を発表する	

到達目標	ヘアショーを成功させる。		
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価		
備考			